

第一編 地域社会の概観

はじめに

昭和三十年四月二十五日に、川上村（面積三四、五五平

方秆、世帯一、
三二二戸、人口
六、九三〇人）

と、三内村（面

積六一・〇二平

方秆、世帯八〇

五戸、人口四、一

〇一人）とが合

併し、川内村と

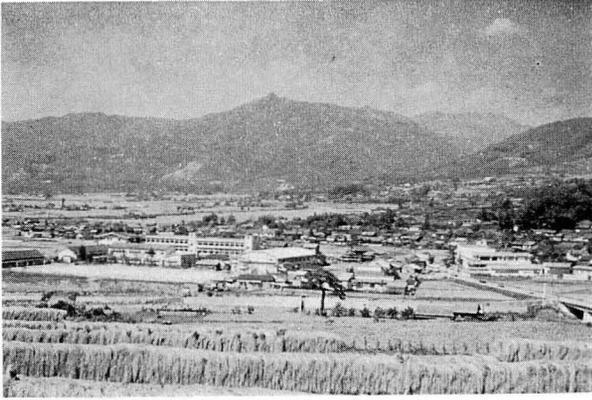
村名を改める。

翌昭和三十一年

九月一日、周桑

郡中川村大字滑

川及び大字明河



川内町役場附近国道筋

字海上、九騎の地域（面積一五・三二平方秆、世帯一八五戸、人口八七五人）を吸収合併すると同時に町制を施行して川内町と改める。尚昭和三十一年九月三十日周桑郡丹原町大字明河字塩嶽の地区をも編入合併して今日に至る。

面積 一一〇・八九平方秆

人口 一〇、〇六八人

世帯数 二、二八二世帯（昭和四〇・二〇一〇国調）

（註）旧村については川内町誌第一編に詳細記述。合併については本誌第二編に記述する。

一、地勢

（川内町誌第一編参照）

川内町は

東径一三二度五三分五秒—一三三度〇一分三〇秒

北緯 三三度四三分三五秒—三三度五一分三〇秒

の間に拡がり、道後平野の東端にある。北部は高縄山脈の連山を境として重信町山之内に、東部は面木山、黒森に連

なる分水嶺によって丹原町に接する。南部は善神森及びその連峯によって面河村、久万町及び重信町上林に境し、西部は重信川を距てて重信町に接する。東西九・四軒、南北一〇・三軒の拡がりをもって、平地部でも一三〇米、山地部で二五〇米、山並びに峠は五〇〇米から一、〇〇〇米に達する農山村地帯である。平地部は白亜紀和泉砂岩層・山地部の滑川地区は水成岩層・河之内地区は結晶片岩層・井内地区は安山岩層が多い。

(資料一 北川淳一郎著「ふるさとの山山」参照)

割石山	本谷山	黒木山	面坂山	白倉山	楢倉山	横倉山	よその山	旦采山
二〇七	二二六	二〇四	二〇六	二〇七	二〇七	二〇六	二〇六	二〇六
奥善神山	前善神山	井内峠	九城嶽	根無山	白猪峠	割石峠	黒森峠	
二二〇	二二五	二〇八	二二七	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	
三方森	大熊山	根引峠	三ヶ峠	経座ヶ森	番駄ヶ森	大根木峠	象ヶ森	
一、〇〇〇	九〇〇	三三〇	三三〇	七五〇	七〇〇	六九〇	九〇〇	

山 (峠)



井内峠から道後平野を望む(尾根右端の山は塩ガ森)

滑川	中川	宝川	洪川	本谷川	板谷川	惣ノ子川	井内谷川	表内川	重信川
六〇〇	三三〇	三五〇	三五〇	三八〇	一一〇	一一〇	一七〇	一七〇	二五〇
畑川	横河川	河原橋	下	〃	〃	〃	〃	〃	〃
一〇〇	一七〇	一七〇	一七〇	一七〇	一七〇	一七〇	一七〇	一七〇	一七〇
滑床峠	楡ヶ峠	よそ山	血ヶ森	奥松山	大方山	三井山	井内峠	唐岬	山之内
根引									

川

長さ(軒)

川幅

(米)

水源地



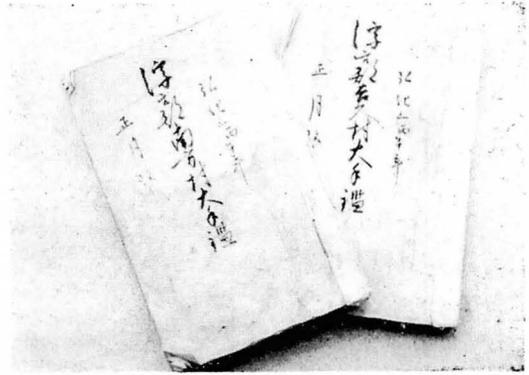
太平部落から見た善神山(中央右高所が前善神山)

三、気 象

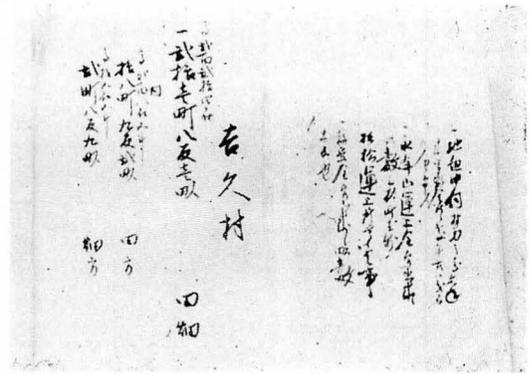
(伊) 昭和三十八年気象調

1月	月	目項	
9.8°	最高	氣 温	天 氣
-10°	最低		
0.6°	月平均		
0日	快晴		
3日	晴		
24日	曇		
雪2日	雨		
10	一日最	雨 量	初 終
70%	雨量		
51	月降		
	雨量		
	霜		
	雪		
	氷		
	大量		
	雨降		
2日	東	風 向	
17日	西		
3日	南		
0日	北		
0日	北東		
8日	北西		
1日	南東		
0日	南西		

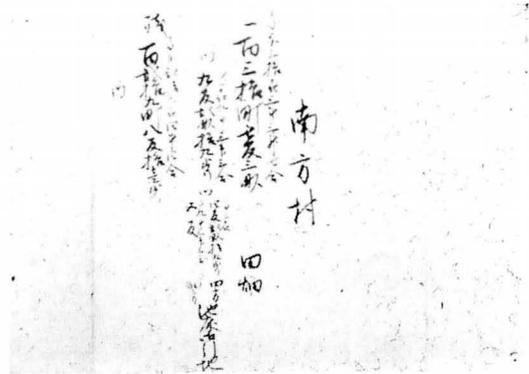
(川上) 小学校調



大手鑑 弘化三年(今から120年前)



全 吉 久 村



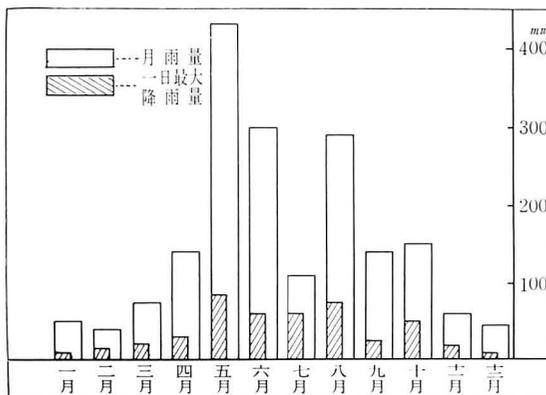
全 南 方 村

計	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2月
	18.0	21.5	26.5	28.4	31.6	34.3	33.2	27.9	25.2	19.5	10.3
	-1	1.1	8.7	11.4	19.0	18.8	14.7	7.2	-1.	-2.6	-4.4
15.1	7	12.6	17.2	22.3	26.2	27.5	23.8	19.3	14.7	8.0	2.3
77	9	12	9	7	5	7	1	0	9	11	7
61	6	0	7	5	8	8	6	1	4	6	7
168	12	16	12	16	13	12	18	20	8	9	8
雪 5 55	4	2	3	2	5	4	5	10	10	5	雪 3 3
	10	18	53	26	75	67	63	86	30	21	15
1.848	45	60	149	140	296	113	303	431	144	75	41
	1日										
	27日 (截至5日)										
	19日										
117	10	15	15	15	7	3	14	4	7	15	10
94	7	5	6	4	12	16	5	6	8	4	4
12	0	1	1	0	3	0	1	3	0	0	0
16	1	2	1	2	0	1	1	2	1	3	2
18	0	0	1	2	1	1	0	8	1	0	4
47	2	0	0	2	3	3	6	7	8	4	4
51	11	7	6	4	3	5	2	0	3	5	4
10	0	0	1	1	2	2	1	1	2	0	0

41	40	39	38	37	36	35	43	33	32	31	昭和30年	年度
49	92	97	51	60	45	61	69	59	34	94	58	1月
89	4	87	41	30	47	15	135	61	65	54	95	2月
221	41	90	75	47	105	52	170	95	35	120	106	3月
97	151	183	144	110	114	124	123	308	190	82	203	4月
202	134	97	431	113	159	127	98	91	251	229	74	5月
188	251	240	303	263	127	253	63	110	130	226	229	6月
174	360	141	113	169	165	155	209	101	279	220	190	7月
121	49	143	296	117	75	181	161	169	182	52	54	8月
380	485	185	140	46	256	120	84	116	386	445	188	9月
61	37	82	149	101	191	146	160	129	71	151	146	10月
82	109	150	60	102	97	85	74	49	92	14	72	11月
65	97	13	45	59	67	21	110	81	33	22	20	12月
1,727	1,810	1,508	1,848	1,217	1,448	1,213	1,456	1,367	1,748	1,710	1,435	年間雨量
126	131	122	86	70	118	104	58	62	93	90	98	最大一日雨量
9.24	9.9	9.24	5.4	7.5	9.15	6.21	8.12	4.22	5.19	10.30	9.29	最大降雨日

雨量 (川上小学校調)

雨量表 (昭和38年川上小学校調)



33 年				32 年				31 年				昭和 30 年				月	天
雨	曇	晴	快晴														
7	16	3	5	1	17	10	3	4	19	6	2	0	26	5	0	1	(川上小学校調)
4	11	6	7	1	18	9	1	1	17	9	2	2	16	7	3	2	
5	15	5	6	1	15	10	5	雪1.7	15	4	4	雪1.6	16	4	4	3	
12	6	9	3	5	8	8	9	1	16	8	5	7	6	7	10	4	
4	17	7	3	6	13	5	7	5	23	3	0	5	14	6	6	5	
4	19	4	3	2	17	5	6	4	18	7	1	5	15	9	1	6	
1	13	16	1	8	16	5	2	1	14	11	5	5	11	12	3	7	
5	9	8	9	4	10	7	10	1	9	14	7	1	8	14	8	8	
6	10	11	3	6	15	3	6	1	18	10	1	4	11	13	2	9	
7	10	10	4	3	8	12	8	3	15	10	3	5	10	14	2	10	
4	8	9	9	2	6	8	14	0	15	9	6	2	12	8	8	11	
6	12	5	8	2	12	9	8	1	13	11	6	0	11	11	9	12	
64	146	93	61	41	155	91	79	30	192	102	42	43	156	110	56	年計	
北 西東	南 西東	西	東	月	風 向												
3	4	14	10	0	1	12	18	1	3	17	10	4	1	21	5		
4	6	4	14	0	0	13	16	1	1	20	7	1	0	18	9	2	
2	5	15	9	1	1	15	14	1	3	12	15	0	0	13	18	3	
5	3	18	4	2	3	16	9	0	1	19	10	1	0	13	16	4	
1	5	12	13	2	8	15	6	0	1	14	16	1	0	24	6	5	
0	2	18	10	2	8	16	4	0	0	19	11	2	2	21	5	6	
2	5	18	6	1	5	20	5	1	0	25	5	1	6	17	7	7	
7	0	17	7	0	9	16	6	0	2	17	12	1	3	14	13	8	
5	3	10	12	0	10	4	16	0	0	14	16	2	4	10	14	9	
3	3	8	17	2	7	14	8	0	0	5	26	0	3	8	20	10	
1	2	8	19	3	5	5	17	1	0	14	15	0	0	15	15	11	
1	4	10	16	2	9	8	12	2	1	19	9	1	7	6	17	12	
34	42	152	137	15	66	154	131	7	12	195	152	14	26	180	148	年計	

38年		37年				36年				35年				34年			
晴	快晴	雨	曇	晴	快晴	雨	曇	晴	快晴	雨	曇	晴	快晴	雨	曇	晴	快晴
3	0	雪 3.1	16	7	4	2	15	10	4	3	12	15	1	0	23	5	3
7	7	1.2	11	5	9	雪 2.3	15	4	4	1	10	7	11	6	15	4	3
6	11	7	10	6	8	3	10	3	15	4	12	7	8	5	9	13	4
4	8	6	8	7	9	2	17	3	8	6	9	5	10	3	8	14	5
1	0	7	11	6	7	6	16	3	6	2	20	2	7	4	15	10	2
6	1	7	19	2	2	2	19	5	4	6	13	4	7	2	6	12	10
8	7	5	13	8	5	1	21	2	7	4	12	6	9	2	14	6	9
8	5	0	17	6	8	1	17	7	6	3	11	14	3	4	9	9	9
5	7	2	13	8	7	3	14	7	6	2	22	3	3	3	11	8	8
7	9	2	15	3	11	5	13	4	9	4	13	8	6	4	8	14	5
0	12	6	11	6	7	3	15	5	7	3	13	5	9	1	12	6	11
6	9	1	17	8	5	3	13	7	8	1	15	7	8	1	17	8	5
61	76	50	161	72	82	36	185	60	84	39	162	83	82	35	147	109	74
西	東	北 西	南 西	西	東	北 西	南 西	西	東	北 西	南 西	西	東	北 西	南 西	西	東
17	2	8	4	17	2	2	3	12	14	0	1	17	13	5	2	12	12
4	10	9	11	3	5	2	2	13	11	3	1	17	8	0	0	8	20
4	15	9	8	5	9	5	2	7	17	3	3	9	16	2	0	15	14
8	7	12	3	8	7	4	2	13	11	5	2	10	13	2	1	13	14
6	4	2	4	14	11	7	3	11	10	8	1	11	11	0	3	19	9
5	14	3	9	10	8	4	5	9	12	9	5	5	11	0	1	16	13
16	3	4	4	11	12	9	3	11	8	7	3	15	6	5	1	23	2
12	7	6	11	10	4	11	7	3	10	0	1	13	17	1	1	22	7
4	15	5	10	10	5	7	10	3	10	2	3	9	16	1	0	8	21
6	15	3	4	2	22	2	11	1	17	0	0	3	28	0	2	7	22
5	15	5	6	4	15	8	7	0	15	2	2	4	22	2	0	5	23
7	10	5	3	4	19	8	9	6	8	4	1	12	14	2	5	14	10
94	117	72	76	98	119	69	64	89	143	43	23	125	175	20	16	162	167

	41年				40年				39年				38年		月	天
	雨	曇	晴	快晴	雨	曇	晴	快晴	雨	曇	晴	快晴	雨	曇		
	5	19	5	2	4	14	12	1	4	16	9	2	雪2.2	24	1	
	4	18	3	3	2	16	6	4	雪4.3	15	3	4	3.3	8	2	
	5	20	3	3	4	13	5	9	3	16	8	4	5	9	3	
	6	17	6	1	6	14	4	6	7	17	5	1	10	8	4	
	6	10	10	5	2	18	5	6	2	10	10	9	10	20	5	
	8	15	5	2	3	23	2	2	7	19	1	3	5	18	6	
	2	17	6	6	3	19	5	4	1	15	8	7	4	12	7	
	4	16	9	2	1	7	14	9	1	12	9	9	5	13	8	
	7	9	7	7	6	14	5	5	3	17	6	4	2	16	9	
	4	15	6	6	1	11	10	9	5	12	7	7	3	12	10	
	4	10	11	5	6	8	7	9	4	12	5	9	2	16	11	
	3	18	6	4	7	24			2	12	7	10	4	12	12	
	58	184	77	46	45	181	75	64	雪(4) 42	173	78	69	60	168	年計	
無風	北西	南西	西	東	北西	南西	西	東	北西	南西	西	東	北西	南西	月	風
	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東		
1	5	1	10	14	8	4	6	13	2	8	3	18	8	4	1	
1	7	11	3	6	7	8	6	7	7	5	3	13	10	4	2	
	8	5	9	9	3	10	15	3	4	5	9	13	7	5	3	
	5	4	10	11	4	7	7	12	6	7	9	7	10	5	4	
2	5	4	8	12	3	5	13	10	8	5	7	11	17	4	5	
	11	6	5	8	6	8	12	4	6	5	9	10	7	4	6	
	8	2	15	6	8	5	18		13	4	11	3	5	7	7	
1	4	3	13	10	9	8	7	7	10	3	7	11	4	8	8	
	3	6	3	18	6	9	8	7	3	8	9	8	6	5	9	
1	4	6	7	13	5	12	2	12	5	8	1	17	2	8	10	
	5	12	3	10	3	12	4	11	6	6	2	16	2	8	11	
	7	8	1	15	5	8	8	10	2	10	3	12	3	11	12	
6	72	68	87	132	67	96	106	96	72	74	73	139	81	73	年計	

観象	霜		氷		霰		雪	
	初霜	終霜	初氷	終氷	初霰	終霰	初雪	終雪
昭和	二月九日	四月五日	二月	三月	二月九日	二月	二月七日	二月二十日
三〇	二月九日	四月五日	二月	三月	二月九日	二月	二月七日	二月二十日
三二	二月九日	四月五日	二月	三月	二月九日	二月	二月七日	二月二十日
三三	二月九日	四月五日	二月	三月	二月九日	二月	二月七日	二月二十日
三四	二月九日	四月五日	二月	三月	二月九日	二月	二月七日	二月二十日
三五	二月九日	四月五日	二月	三月	二月九日	二月	二月七日	二月二十日
三六	二月九日	四月五日	二月	三月	二月九日	二月	二月七日	二月二十日
三七	二月九日	四月五日	二月	三月	二月九日	二月	二月七日	二月二十日
三八	二月九日	四月五日	二月	三月	二月九日	二月	二月七日	二月二十日
三九	二月九日	四月五日	二月	三月	二月九日	二月	二月七日	二月二十日
四〇	二月九日	四月五日	二月	三月	二月九日	二月	二月七日	二月二十日
四一	二月九日	四月五日	二月	三月	二月九日	二月	二月七日	二月二十日
四二	二月九日	四月五日	二月	三月	二月九日	二月	二月七日	二月二十日
四三	二月九日	四月五日	二月	三月	二月九日	二月	二月七日	二月二十日
四四	二月九日	四月五日	二月	三月	二月九日	二月	二月七日	二月二十日
四五	二月九日	四月五日	二月	三月	二月九日	二月	二月七日	二月二十日
四六	二月九日	四月五日	二月	三月	二月九日	二月	二月七日	二月二十日
四七	二月九日	四月五日	二月	三月	二月九日	二月	二月七日	二月二十日
四八	二月九日	四月五日	二月	三月	二月九日	二月	二月七日	二月二十日
四九	二月九日	四月五日	二月	三月	二月九日	二月	二月七日	二月二十日
五〇	二月九日	四月五日	二月	三月	二月九日	二月	二月七日	二月二十日

四、生物

(川内町誌第一、二、三部自然誌生物参照)

生物には、町民の祖先以来幾百年の歴史を物語るものがあり、生活の苦勞や人情の秘事等幾多のゆかしい追憶があり、自然発生によるものほかは、今後保存育成に努力すべきものが数多いと思われる。

(1) 植物

重信川、表川の堤防の黒松の巨木や医王寺の橡の木、揚神社の樟、長泉寺の柏楨、金毘羅寺の大杉、惣河内神社の檜の木、雨竜のイスの木、土谷三島神社の大杉、善神が森の石南花、吉井神社の大松、光明寺の大杉等祖先の歴史と共に生き今日に長大成したもので、名木として記念物として保存したいものである。

総じて温かな気候と慈雨に恵まれた平地部は一般農作物の栽培に適し、更に今日、改良研究を重ねているし、蔬菜類、花卉類の栽培も近年新しい研究がとりいれられて



善神山のブナの原始林

きた。

四閉山をめぐらした山地地帯は最近造林経営が進んだので、常緑の松杉松等の針葉樹林が育成されている。樅、檜、栂、榎、櫻、檜、楓、等の潤葉樹は薪炭材として年々減少してはいるがそれでも年毎に秋の山を彩色してくれる。山裾や畑の隅等には孟宗竹、真竹、淡竹、雌竹の竹林があつて春と初夏には筍も出まわり竹材の需要をみたしている。橘、三椏、茶は往年程に生産されていない。繭は山麓部の特産である。開墾畑が奨励と農業改善で増加したのが目につく。蜜柑の栽培が大きく地歩を占めてきた。反面、柿、

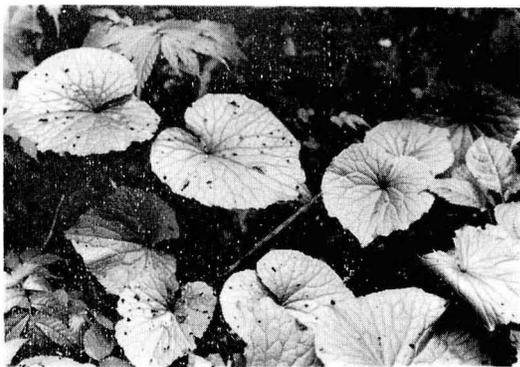


善神山のしやくなげ

梨、栗、桃、枇杷等の果樹は従来の状態
で伸びていないが春
秋の花と果実は色美
しく朝日夕日に映え
ている。

春の田園はスミレ
タンポポ、アザミ、
レンゲソウ、ツクシ、
ワラビ等が行楽をさ
そい、夏を迎えて畑
にエノコログサ、イ

ヌタデ、ツユクサ等の茂り、山陰にヤマユリ、河原にヒル
ガオの花が開き、水中にフサモ、マツモ等がひろがる。秋
至ればキキヨウ、オミナエシ、ススキ、ナデシコ等七草が
可憐に咲き、北方山には松茸、シメジ、コウタケ等が山の
味覚を楽しませてくれ、山帰りの人の裳にイノコヅチの実
のとりついているのも風情がある。薬用植物として名のあ
るセンブリ（胃痛）、オオバコ（咳止め）ゲンノシヨウコ



井内根無山のわさび

(下痢止め)等は山あいにて採集できる。

特に志して黒森峠、割石峠、井内峠を跋涉して植物採集研究を試みるとすれば、数多くの珍らしい四季を通じて去來する植物に接して、目と研究を十分に満足さしてくれるであろう。

(資料「晩秋の井内峠」三好保徳。「川内町の自然」八木繁一参照)

(2) 動物

野生動物 地勢的に山岳重畳といった滑川地区、奥松瀬川地区あたりには、時に猪、野兎が出て農作物を害したことがある。猪は稀にしかいない。犬猫は多くいるが登録犬は二九一頭である。(昭和四〇・一一月現在) タヌキ、キツネ、リス、コウモリ、イタチの類も所々に棲息しているらしい。毎年二百人前後あるハンターも、珍らしい獲物は少ないらしい。

家畜その他 馬、牛は往年には農耕、荷物の運搬等に主役を演じていたが、農業の機械化に伴い従来を異にし、馬はほとんど姿を消し、滑川地区に木材運搬用に幾頭かいるにすぎない。牛も以前は各農家に一頭は飼育してい

たが、現在では肉牛として肥育され、その数も減少した。酪農の振興により乳牛が黒牛に変わり飼育されるようになった。

養豚はあまりふるわない。養鶏の研究も進み副業的にも又規模を拡張して計画的にも普及している。

鳥類 雉、山鳩、燕、雀、鶯、^{とび}百舌、鴨、ヤマガラ、目白、ヒヨドリ、ホトトギス、四十雀、等が鳴声や姿を見聞させてくれる。

蝶類 モンシロチョウ、キアゲハ等種類も多い。

蜂類 アシナガバチ、クマバチ、シシバチ、ジガバチ等所在にとびまわる。

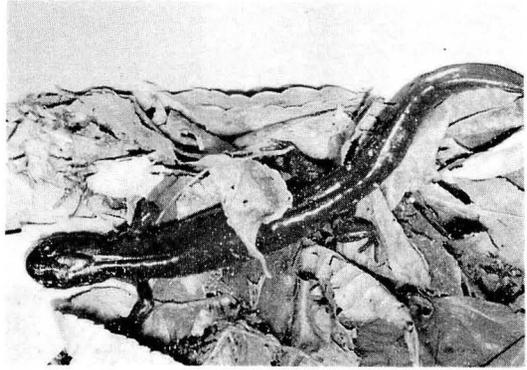
とんぼ類 赤トンボ、シオカラトンボ、等種類も多く、夏の蛙の声、春の蝶と共に田園の美しいにぎわいである。

昆虫類 テントウムシ、アブラムシ、ゴキブリ、イエバエ、ヤブカ、ジョログモ、カミキリ、ゲンゴロウ、イナゴトカゲ、に至るまで、竹藪、野道、山道、叢、水たまり、沼、溝等、これら昆虫族の棲家は広い。消毒薬や駆除剤の使用で次第にその巣源をたたれ、種族を消滅してはいるが、まだまだ夏の農村は小動物の天下である。初夏の夜景

を情趣ゆたかにして
くれる源氏螢のとび
かうさま、真夏の緑
陰に蟬の声とともに
涼風に憩うことで
きる長閑けさが田舎
には残されている。

また、明河、井
内の谷川には山椒魚
や平家蟹の珍奇な動
物が棲息しているの
も面白い。河鹿をき
くのも風情がある。

魚類 魚類にいたってはとりあげる程のものはない。
鱧も少なくなった。オコゼが井内、河之内、土谷の谷間に
いる。また、ハヤは多くいるがアユは時に釣師を喜ばす位な
もの。池等の鯉、鮒等の養殖も試みに過ぎなく、庭園の小
池にかわれているのを見て楽しむ有様である。



善神山谷にすむ大台原山椒魚

五、変 災

(1) 滑川郷の大火

昭和三十五年三月二十日滑川地区郷部落に大火があつた。連日の晴天続きで異状乾燥注意報、及び強風注意報の出ている当日午後一時頃民家で三樞を蒸していたかまどの火の粉が突風にあおられて萱葺屋根に引火したのが原因であつた。消防団も出動したのであつたが地形不便、急坂に家屋櫛比し、連日の晴天続きで異状乾燥という悪条件が重なって意の如くならなかつたものである。

八戸二十四棟全焼、老母一人、牛二頭、山羊二、緬羊一、鶏多数焼死、米穀衣料農具等すべて烏有に歸し、更に裏山に延焼、山林二五〇町歩を焼き、翌二十一日午前三時漸く鎮火した。罹災者四十四名、損害一億五千万円といわれている。町当局は直ちに救援対策をたて、罹災者の救援に當つたが、更に各方面の温い同情救援をえて次のような結果をみたのである。

(役場扱、婦人会扱、対策本部扱総合計)

現金 三五一、六九九円



郷の大火(昭和 35.3.20)の山林焼跡

米 四二六四・疋

(約六三俵)

衣料品 多数

日用品 多数

応急住宅の建設、

救援物資の移送、対

策本部の設置等を了

えた五月五日、郷、

白山神社に於て川内

町長はじめ災害対策

本部、罹災者参集し

て更生祈願祭を執行

し町役場扱の救援物資の全部の交付を終了して、ここに自立更生の第一歩を踏み出したのであった。

(2) 昭和三十八年の大雪と長雨

昭和三十七年末から降りはじめた雪は、^{みぞれ}霰、^{あられ}吹雪と断

続して、消えては積り、三十八年一月九日には平地部でも

二十糶の積量をみた。山地部は融けることもなく固まって

はその上に降り積るので、通学困難で臨時休校した学校も

あった。約一ヶ月の間は交通機関が杜絶し、地肌をみるこ
となく過ごすという有様。二月中旬になって漸く雪の世界
から解放されることができた。近年まれな長い大雪で、農
作物にも、山林立木にも多大の被害があった。

三月、四月、一息した所が、五月はじめ頃から霖雨に見
舞われた。次表でもわかるとおり、五月は平年の四倍の雨
量、雨天曇天三十日という天候で、麦の収穫皆無。農民は
全く麦稈の処置に困ったものである。被害状況次のとお
り。

被害 件名	昭和三十八年		昭和三十九年		被害額 千円	被害率 %
	降水量 ミリ	雨天日 日	降水量 ミリ	雨天日 日		
麦類	一〇・一	一〇	一四	一〇	五、一五	九二
蔬菜	一〇・一	一〇	一〇	二〇	三、〇〇	四三
柑橘	一〇・一	一〇	一〇	二〇	九、六〇	四〇
果樹	一〇・一	一〇	一〇	二〇	六、九〇	四九
煙草	一〇・一	一〇	一〇	二〇	三、〇〇	四〇
養蚕	一〇・一	一〇	一〇	二〇	九〇〇	二〇

このため町、県、国に於てこの長雨被害の対策として災
害補償、災害融資等の方策が講ぜられた。

(3) 土谷落出の火災

昭和三十九年三月二十四日、落出に火災が起った。原因



道路使用不能（4米以上食違っている）川内町音田の地どり



水田が殆んど破壊した川内町音田

は留守中のいろりの火から。損害二百万円と推定される。

四戸七棟全焼、十四人の罹災者を出した。
町内からは現金 一一六、八六〇円

白米 四石五斗八升一合五勺（十四俵）

衣料 八五一点

の現物救援があり罹災者も再起を誓っている。

(4) 河之内音田地区の地どり

昭和四十年九月十七日台風二十三号及び二十四号の連続

来襲の集中雨を受け、音田柳層谷に地どりが起きた。

この地区は昭和三十五年地に地区の指定を受けたが、年々地核の変動激しく、一年間で一枚の水田が三・四枚に分割しなければ耕作ができない状態であった。県においてその対策として、昭和三十八年からボーリングをして、地下水の測定、汲出し等を行っていたが、台風による豪雨のた

六、人口動態

事業名	事業費	事業量		国庫補助率
		米	反	
農地	二、三四千円	畑田	二〇反	六四・三%
農道	三、三三七	水路	二、六六米	六六・二%
農道保全	七、七三五	井戸	一一本	六六・二%
計	五三、三〇六			

事業概要

尚、この災害復旧として国より九四・三乃至、九八・二パーセントの高率補助を受け四ヶ年計画で復旧に着手した。

県では直ちに下部に一、七〇〇万円を投じて堰堤の構築に着手している。

め、柳層谷一带十町歩に及んで流れ出し、田畑は凸凹を生じ、稲田は波のようにシユウ曲し、道路は至る所で寸断され、その断層一丈に余る箇所数ヶ所、見るも悲惨な形状を呈するようになった。下部の五戸の民家は家財を疎開し、その内二戸は家屋の取こわしまでして、避難したが、幸にも雨もやんで人畜に被害はなかった。

(1) 川内町人口動態

(毎年十二月末調)

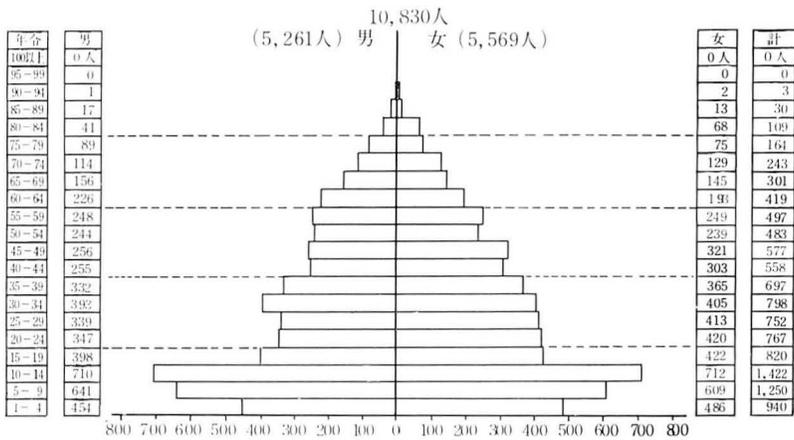
年度	世帯数	人口	男	女	自然的 人口動態(A)			社会的 人口動態(B)			増減 A±B	一平方 人口密度	備考
					出生	死亡	増減	転入	転出	増減			
30年末	2,408	11,088	5,412	5,676	200	94	106	481	605	△124	△ 18	100	4月25日三内村川上村合併 9月1日澁川明河地区合併
31	2,576	11,860	5,804	6,056	208	76	132	349	579	△230	△ 98	106	
32	2,555	11,808	5,778	6,030	215	71	144	357	553	△196	△ 52	106	
33	2,493	11,681	5,713	5,968	197	94	103	372	602	△230	△127	105	
34	2,447	11,574	5,656	5,918	193	83	110	383	600	△217	△107	104	
35	2,369	11,337	5,541	5,796	159	92	67	356	660	△304	△237	102	
36	2,362	11,294	5,521	5,773	131	99	32	582	657	△ 75	△ 43	101	
37	2,414	11,317	5,595	5,719	147	88	59	689	725	△ 36	23	102	
38	2,397	11,014	5,428	5,586	146	90	56	554	913	△359	△303	99	
39	2,359	10,542	5,079	5,463	149	76	73	502	1343	△841	△768	95	
40	2,319	10,353	4,999	5,354	150	86	64	468	728	△260	△196	93	
41	2,304	10,090	4,838	5,252	71	89	△18	353	605	△252	△270	90	

(2) 昭和三十五年十月一日国勢調査

(1) 年令別人口

年令	総数	男女		男				女			
		男	女	未婚	有配偶	死別	離別	未婚	有配偶	死別	離別
総数	10,830	5,261	5,569								
0—4	940	454	486								
5—9	1,250	641	609								
10—14	1,422	710	712								
15才以上	7,218	3,456	3,762	890	2,346	183	37	779	2,352	572	59
15—19	820	395	422	398	0	0	0	415	7	0	0
20—24	767	347	420	305	41	1	0	272	146	0	2
25—29	752	339	413	140	198	1	0	53	347	3	10
30—34	798	393	405	20	366	0	7	17	373	9	6
35—39	697	332	365	10	320	1	1	9	330	18	8
40—44	558	255	303	5	246	1	3	7	252	34	10
45—49	577	256	321	3	241	5	7	5	250	60	6
50—54	483	244	239	3	229	9	3	0	188	49	2
55—59	497	248	249	3	220	18	7	1	182	60	6
60—64	419	226	193	0	197	25	4	0	126	65	2
65—69	301	156	145	2	117	35	2	0	75	67	3
70—74	243	114	129	0	93	21	0	0	54	75	0
75—79	164	89	75	1	50	35	3	0	15	58	2
80—84	109	41	68	0	24	17	0	0	7	59	2
85—89	30	17	13	0	3	14	0	0	0	13	0
90—94	3	1	2	0	1	0	0	0	0	2	0
95—99	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

年令別人口表 (昭和35.10.1国勢調査)



(2) 在学、卒業別学歴別人口 15才以上

(昭和 35.10.1)

	総 数	卒 業 者									在 学 者	未 就 学 者	不 詳
		総 数	小 学	高 小	新 中	青 学	旧 中	新 高	短 大	高 専			
総数	7,218	6,463	1,379	2,430	961	488	491	583	93	38	516	238	1
男	3,456	3,122	577	1,258	472	296	198	230	58	33	273	60	1
女	3,762	3,341	802	1,172	489	192	293	353	35	5	243	178	0

(3) 15才以上女子既婚者、出生児及び平均出生児数

(昭和 35.10.1)

	総 数	15 ~ 19	20 ~ 24	25 ~ 29	30 ~ 34	35 ~ 39	40 ~ 44	45 ~ 49	50 ~ 54	55 ~ 59	60 ~ 64	65 ~ 69	70 ~ 74	75 ~ 79	80 以 上
15才以上 既婚 女子 数	2,956	7	147	359	388	352	295	316	239	246	190	145	119	75	78
出生児数	11,256	2	120	928	989	1,079	1,096	1,390	1,264	1,366	1,095	817	657	379	354
平均 出生 児	3.81	0.29	0.82	1.75	2.55	3.12	3.72	4.40	5.29	5.55	5.76	5.63	5.52	5.05	4.54

(4) 労働力状態 15才以上

(昭和 35.10.1)

	総 数	勞 働 力						非 勞 働 力						不 詳
		勞働 力 総 数	就 業 者 総 数	お も に 仕 事	従 に 仕 事	休 業 中	完 全 失 業 者	非 勞 働 力 総 数	家 事	通 学	病 気 老 令	そ の 他		
総 数	7,218	5,003	4,985	3,962	934	89	18	2,214	878	591	564	151	1	
男	3,456	2,869	2,856	2,748	60	48	13	587	6	261	255	65	0	
女	3,762	2,134	2,129	1,214	874	41	5	1,627	872	330	339	86	1	

(5) 産業従業上の地位

(昭和35.10.1)

		総数	雇用主のある業主	雇用主のない業主	内職者	家族従業者	官公庁雇用者	民間雇用者	民間の役員
	総数	4,985	44	1,590	22	2,072	310	927	20
1	農業	2,717	2	1,084	0	1,616	1	14	0
2	林業	605	4	228	0	304	14	55	0
3	漁業	0	0	0	0	0	0	0	0
4	鉱建業	10	0	0	0	0	0	10	0
5	建設業	407	4	46	0	9	63	283	2
6	製造業	265	9	28	9	19	1	195	4
7	卸売業	337	11	138	0	98	1	86	3
8	金融業	17	0	3	0	1	0	13	0
9	運輸通信業	95	1	5	0	0	25	63	1
10	電気ガス水道業	9	0	0	0	0	0	9	0
11	サービス業	427	13	58	13	25	110	198	10
12	公務員	95	0	0	0	0	95	0	0
13	分類不能の産業	1	0	0	0	0	0	1	0
	男	2,956	35	1,317	0	558	218	709	19
1	農業	1,339	1	890	0	439	0	9	0
2	林業	369	4	223	0	80	13	49	0
3	漁業	0	0	0	0	0	0	0	0
4	鉱建業	9	0	0	0	0	0	9	0
5	建設業	358	4	46	0	7	54	245	2
6	製造業	214	9	24	0	6	1	170	4
7	卸売業	170	6	89	0	22	0	51	2
8	金融業	15	0	3	0	0	0	12	0
9	運輸通信業	91	1	5	0	0	22	62	1
10	電気ガス水道業	9	0	0	0	0	0	9	0
11	サービス業	208	10	37	0	4	55	92	10
12	公務員	73	0	0	0	0	73	0	0
13	分類不能の産業	1	0	0	0	0	0	1	0
	女	2,129	9	273	22	1,514	92	218	1
1	農業	1,378	1	194	0	1,177	1	5	0
2	林業	236	0	5	0	224	1	6	0
3	漁業	0	0	0	0	0	0	0	0
4	鉱建業	1	0	0	0	0	0	1	0
5	建設業	49	0	0	0	2	9	38	0
6	製造業	51	0	4	9	13	0	25	0
7	卸売業	167	5	49	0	76	1	35	1
8	金融業	2	0	0	0	1	0	1	0
9	運輸通信業	4	0	0	0	0	3	1	0
10	電気ガス水道業	0	0	0	0	0	0	0	0
11	サービス業	219	3	21	13	21	55	106	0
12	公務員	22	0	0	0	0	22	0	0
13	分類不能の産業	0	0	0	0	0	0	0	0

(6) 職業男女別就業者

(昭和35.1.1)

	総 数	1 専 門 的 技 術 的 職 業 従 事 者	2 管 理 的 職 業 従 事 者	3 事 務 従 事 者	4 販 売 従 事 者	5 農 林 漁 業 従 事 者	6 採 鉱 採 石 従 事 者	7 運 輸 通 信 従 事 者	8 技 能 工 、 生 産 工 程 従 事 者 、 単 純 労 働	9 サ ー ビ ス 職 業 従 事 者	10 分 類 不 能 の 職 業
総 数	4,985	159	32	204	262	3,409	15	109	665	130	0
男	2,856	106	32	123	116	1,791	14	102	538	34	0
女	2,129	53	0	81	146	1,618	1	7	127	96	0

(7) 普通世帯数人員

(昭和35.10.1)

総 数		普 通 世 帯												
世帯数	世帯人員	総 数	1人	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11人以上	
2,267	10,830	世帯数 2,251	世帯人員 10,733	96	226	287	391	451	382	229	123	44	14	8

(8) 準世帯人員

(昭和35.10.1)

総 数		準 世 帯																						
世帯数	世帯人員	1人の世帯	営業使用人の世帯	学校の寄宿舎	会社等の寄宿舎	病院養護所	施設	船舶	自衛隊	矯正施設	その他	世帯人員												
16	97	11	11	1	10	1	41	2	23	1	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(9) 世帯主の労働状態および産業別分類

(昭和35.10.1)

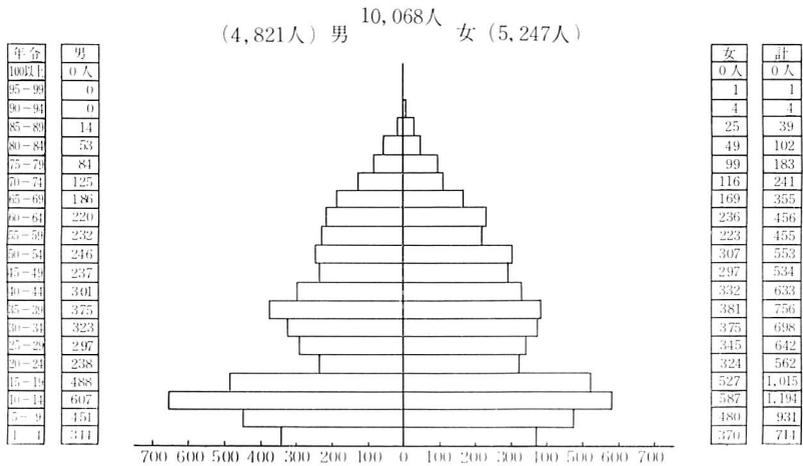
総 数	世 帯 主 が 就 業 者 の 世 帯													世帯主が14才以下					
	総 数	1農 業	2林 業 狩 猟 業	3漁 業 水 産 養 殖 業	4鉱 業	5建 設 業	6製 造 業	7卸 売 業 小 売 業	8金 融 保 険 不 動 産 業	9運 輸 通 信 業	10電 気 ガ ス 水 道 業	11サ ー ビ ス 業	12公 務		13分 類 不 能 の 産 業	世帯主が完全失業者の世帯	世帯主が非労働力の世帯	世帯主の労働力状態不詳	
世帯数	2,251	2,048	957	262	0	7	242	119	146	9	68	6	183	48	1	6	196	0	1
人 員	10,733	9,854	4,960	1,285	0	32	1,060	545	635	41	306	26	716	241	7	23	852	0	4

年 令	總 数	男	女	男				女			
				未婚	有配偶	死別	離別	未婚	有配偶	死別	離別
40 — 44	633	301	332	2	293	2	4	7	302	19	4
45 — 49	534	237	297	2	232	1	2	11	243	34	9
50 — 54	553	246	307	5	229	5	7	2	226	72	7
55 — 59	455	232	223	0	220	9	3	0	165	57	1
60 — 64	456	220	236	2	199	16	3	1	153	74	8
65 — 69	355	186	169	0	157	28	1	0	97	69	3
70 — 74	241	125	116	1	93	30	1	1	40	73	2
75 — 79	183	84	99	0	55	28	1	0	28	71	0
80 — 84	102	53	49	0	31	22	0	0	7	39	3
85 — 89	39	14	25	0	4	10	0	0	2	22	0
90 — 94	4	0	4	0	0	0	0	0	1	3	0
95 — 99	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0
100以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(2) 勞 働 状 態 (15才以上)

	總 数	勞 働 力 人 口			非勞働力人口	不 詳
		總 数	就 業 者	完全失業者		
總 数	7,229	4,935	4,864	71	2,293	1
男	3,419	2,766	2,722	44	653	0
女	3,810	2,169	2,142	27	1,640	1

年 令 別 人 口 表 (昭和40.10.1國勢調査)



(3) 産業別年令

(昭和40.10.1)

		總 數	15 19	20 24	25 29	30 34	35 39	40 44	45 49	50 54	55 59	60 64	65以 上
總	數	4,864	155	424	490	578	673	567	473	469	366	319	350
1	農 業 狩 獵 業	2,923	31	132	260	365	424	333	295	293	256	241	293
2	林 業 水 産 養 殖 業	41	0	0	6	6	6	3	7	2	2	5	4
3	漁 業 水 産 養 殖 業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	鋳 建 業	2	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0
5	設 造 業	391	19	34	48	45	62	55	37	38	33	12	8
6	製 造 業	194	17	30	24	16	27	25	21	11	11	7	5
7	卸 売 業 小 売 業	452	36	78	47	47	34	51	48	42	32	24	18
8	金 融 保 險 不 動 産 業	32	6	9	2	2	4	4	0	2	2	1	0
9	運 輸 通 信 業	160	10	31	31	26	20	14	16	12	4	1	1
10	電 氣 ガ ス 水 道 業	36	2	6	6	9	5	3	2	2	0	1	0
11	サ ー ビ ス 業 務 業	538	29	88	51	55	83	68	44	58	20	23	19
12	公 司 業 務 業	94	5	16	14	11	8	11	9	9	5	4	2
13	分 類 不 能 産 業	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
男		2,722	88	213	290	309	371	293	232	236	222	198	268
1	農 業 狩 獵 業	1,452	25	62	115	152	203	139	126	118	140	146	224
2	林 業 水 産 養 殖 業	35	0	0	5	5	6	3	5	2	2	3	4
3	漁 業 水 産 養 殖 業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	鋳 建 業	2	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0
5	設 造 業	360	16	31	47	44	59	51	28	35	30	11	8
6	製 造 業	137	14	18	21	12	17	16	14	7	8	6	4
7	卸 売 業 小 売 業	522	10	34	26	27	11	26	24	19	21	10	14
8	金 融 保 險 不 動 産 業	20	1	6	2	2	3	4	0	2	0	0	0
9	運 輸 通 信 業	147	8	25	30	24	20	14	9	11	4	1	1
10	電 氣 ガ ス 水 道 業	32	1	5	6	9	4	3	1	2	0	1	0
11	サ ー ビ ス 業 務 業	243	10	28	27	24	40	28	14	34	11	16	11
12	公 司 業 務 業	71	3	4	10	9	8	9	9	8	5	4	2
13	分 類 不 能 産 業	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
女		2,142	67	211	200	269	302	274	241	231	144	121	82
1	農 業 狩 獵 業	1,471	6	70	145	213	221	194	167	175	116	95	69
2	林 業 水 産 養 殖 業	6	0	0	1	1	0	0	2	0	0	2	0
3	漁 業 水 産 養 殖 業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	鋳 建 業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	設 造 業	31	3	3	1	1	3	4	9	3	3	1	0
6	製 造 業	57	3	12	3	4	10	9	7	4	3	1	1
7	卸 売 業 小 売 業	230	26	44	21	15	23	25	24	23	11	14	4
8	金 融 保 險 不 動 産 業	12	5	3	0	0	1	0	0	6	2	1	0
9	運 輸 通 信 業	13	2	6	1	2	0	0	1	1	0	0	0
10	電 氣 ガ ス 水 道 業	4	1	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0
11	サ ー ビ ス 業 務 業	295	19	60	24	31	43	40	30	24	9	7	8
12	公 司 業 務 業	23	2	12	4	2	0	2	0	1	0	0	0
13	分 類 不 能 産 業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(4) 産業従業上の地位

(昭和40.10.1)

		総 数	雇 用 者	自営業主	家族従業者	不 詳
総 数		4,864	1,512	1,544	1,803	5
1	農業	2,923	11	1,253	1,656	3
2	林業	41	19	14	8	0
3	漁業	0	0	0	0	0
4	鉱産	2	2	0	0	0
5	建設	391	363	26	2	0
6	製造	194	157	20	17	0
7	卸売業	452	195	152	104	1
8	金融保険	32	28	4	0	0
9	運輸通信	160	156	2	1	1
10	電気ガス水道	36	36	0	0	0
11	サービス	538	450	73	15	0
12	その他	94	94	0	0	0
13	分類不能の産業	1	1	0	0	0
男		2,722	1,056	1,289	375	2
1	農業	1,452	10	1,091	350	1
2	林業	35	18	14	3	0
3	漁業	0	0	0	0	0
4	鉱産	2	2	0	0	0
5	建設	360	334	26	0	0
6	製造	137	114	20	3	0
7	卸売業	222	108	99	15	0
8	金融保険	20	18	2	0	0
9	運輸通信	147	143	2	1	1
10	電気ガス水道	32	32	0	0	0
11	サービス	243	205	35	3	0
12	その他	71	71	0	0	0
13	分類不能の産業	1	1	0	0	0
女		2,142	456	255	1,426	3
1	農業	1,471	1	162	1,306	2
2	林業	6	1	0	5	0
3	漁業	0	0	0	0	0
4	鉱産	0	0	0	0	0
5	建設	31	29	0	2	0
6	製造	57	43	0	14	0
7	卸売業	230	87	53	89	1
8	金融保険	12	10	2	0	0
9	運輸通信	13	13	0	0	0
10	電気ガス水道	4	4	0	0	0
11	サービス	295	245	38	12	0
12	その他	23	23	0	0	0
13	分類不能の産業	0	0	0	0	0

(5) 職業男女別就業者

(昭和40.10.1)

	総数	1 専 門 的 技 術 的 職 業 従 事 者	2 管 理 的 職 業 従 事 者	3 事 務 従 事 者	4 販 売 従 事 者	5 農 林 漁 業 従 事 者	6 採 鉱 採 石 従 事 者	7 運 輸 通 信 従 事 者	8 技 能 工 、 生 産 工 程 従 事 者 、 車 純 勞 働 者	9 保 安 サ ー ビ ス 従 事 者	10 サ ー ビ ス 職 業 従 事 者	11 分 類 不 能 の 職 業
総数	4,864	209	33	285	328	2,966	6	174	671	13	178	1
男	2,722	134	33	150	153	1,489	5	162	544	13	38	1
女	2,142	75	0	135	175	1,477	1	12	127	0	140	0

(6) 世帯数、人員

(昭和40.10.1)

総数		普通世帯													
世帯数	世帯員	総数													
		世帯数	世帯員	1世帯り あた り 人 員	人 1	人 2	人 3	人 4	人 5	人 6	人 7	人 8	人 9	人 10	人 11 以上
2,280	10,068	2,272	9,991	4.40	113	259	342	474	469	345	174	66	23	7	0

標準世帯		世帯		
総世帯数	世帯員	1人の 標準世帯	その他の 世帯数	標準世帯 員
8	77	2	6	75

(7) 世帯主の労働力状態

(昭和40.10.1)

	総就業者数	1 農 業	2 林 業 狩 猟 業	3 漁 業 水 産 養 殖 業	4 鉱 業	5 建 設 業	6 製 造 業	7 卸 売 業 小 売 業	8 金 融 保 険 不 動 産 業	9 運 輸 通 信 業	10 電 気 、 ガ ス 、 水 道 業	11 サ ー ビ ス 業	12 公 務	13 分 類 不 能 の 産 業	完 全 失 業 者	非 勞 働 力	勞 働 力 状 態 不 詳	十 四 才 以 下 の 世 帯 主	
世帯数	2,272	2,084	1,178	30	0	1	256	92	162	8	96	18	199	43	1	22	164	0	2
世帯人員	9,991	9,431	5,722	136	0	4	1,084	360	683	36	404	70	731	199	2	67	487	0	6